

# 1・2年 図画工作科 学習指導案

単元名（題材名）「ともだち 見つけた」〔学指要領：B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア〕

令和5年12月6日（水） 第3校時 2年生教室

## 【授業改善の視点】

見つけたものを紹介しあう場面において、ロイロノートを用いて共有、発表することは、自分の感じ方を深めたり他の人の感じ方を知ったりするのに有効であろう。

## 本時の学習（2／2）

- ねらい 見つけたものを紹介し合い、他者の考えに触れる活動を通して、自分の造形的な見方や表し方、感じ方を広げることができるようにする。

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     &lt;課題&gt;                      「学校ともだち」マップを完成させよう。                 </div> <p>S：前は校庭で「ともだち」を見つけたな。                      S：校舎の中にはどんなともだちがいるかな。</p> <p>&lt;めあて&gt;                      「ともだち」を見つかる時のおもしろさはなんだろう。</p>		<p>○前時との学習のつながりを意識させるために、活動を振り返ることができるような前時の活動の様子を提示する。 【★写真提示】</p> <p>○本時の学習活動の流れが掴めるように、活動内容を電子黒板に提示し見通しを持たせる。 【★提示】</p> <p>○写真を撮ることが目的とならないように、めあてを確認する。</p>
<p>2 学校内で顔のように見えるものを探し、写真を撮る。（15分） 【★撮影】</p> <p>S：顔のように見えるものが学校の中にもあった。                      S：あまり「ともだち」が見つからないな。                      S：おもしろい顔の「ともだち」を見つけた。</p>		<p>○様々な見方ができるように複数枚撮影をするように声をかける。</p> <p>○「ともだち」を見つけるのが難しい場合は、「目と口」に見える物を見つけるようにする助言や他の児童が見つけたものを見せてもらうように促す。</p>
<p>3 写真をもとに見つけた「ともだち」を絵に表す。（10分）</p>		<p>○「ともだち」の色や形、見方を整理できるよう、絵に表し説明できるように指導を行う。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「見つけた『ともだち』の形や色はどうなっているでしょうか。」                 </div>		
<p>S：いろいろな形の「ともだち」がいておもしろいな。                      S：この「ともだち」はこんな色をしていて面白い。                      S：見方を変えると違ったように見えるな。</p>		<p>○全員が絵に表すことができるよう、絵に表すのが難しい場合は絵の書き方についての助言や他の児童の描き方を真似するように促す。</p>
<p>4 全体で紹介し、感想を出し合いまとめを行う。（15分） 【★データの提示・記入】</p> <p>S：いろいろな見え方があっておもしろいな。                      S：ほかにもおもしろい見え方があるかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     &lt;まとめ&gt;                      身の回りにあるものでも顔のように見えたり、見方を変えると違ったように見えたりしておもしろい。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     &lt;振り返り&gt;                      S：身の回りにはあるものは色や形がさまざま、見方を変えると違ったように見えな。                 </div>		<p>○いろいろな見え方に気付かせるために、撮った写真と絵を提示し、どこでどのような「ともだち」を見つけたのかを説明させるよう促す。 【★提示】</p> <p>○「ともだち」の面白さに気付かせるように、他の児童の「ともだち」に対してどこがおもしろいかを記入し共有させる。</p> <p>○自分の見方や感じ方を広げることができるように、「他の見え方は？」などの発問をする。</p> <p>◆評価項目（思）                      発表やロイロノートの記述内容から、「造形的な見方や表し方、感じ方を広げることができたか」を評</p>